

事業所における自己評価結果

放課後等デイサービスおとのわ

公表日：令和6年12月

内容	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点等
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切か。	○		・できるだけ少人数で、活動に取り組んでいる。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置等は適切であるか。	○			
	3 生活空間は子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また事業所の設備は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4 職員の配置数は適当か。	○		・1人1人に、よりサポート援助できる人数である。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・その日の利用者の様子状況により、細やかに部屋も使い分けている。 ・常に、備品・荷物等の整理整頓をして、いつでも使用できるように確保している。	
業務改善	6 業務改善を進めるために、目標設定と振り返りに広く職員が参画しているか。	○			
	7 保護者アンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。		○		今後検討する
	10 職員の資質向上を行うために、研修を受講する機会や社内研修を開催する機会が確保されているか。	○		・研修報告も回覧してもらっている。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画書を作成しているか	○			
	13 個別支援計画書を作成する際には、児発管だけではなく全職員の共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14 個別支援計画書が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			

内容		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点等
適切な支援の提供	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	個別支援計画書には放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・毎月、子どもたちが楽しめるような活動や、季節に合った活動を考えながら提出している。 ・活動案を考えることによって、色々なプログラムができて、利用者が楽しめる、飽きないようなプログラムを作成することができる。	
	18	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか。	○			
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画書を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・全員揃って、確認を行っている。 ・日によって活動が始まっても、個別に伝えてもらっている。	
	21	支援終了後には、職員間で打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・早く退社してしまう場合は、残っている職員に伝えるようにしている。 ・退勤が早い日でも、気づいた点は共有してから退勤している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスのガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○			

内容		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点等
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・選択が難しい場合でも、2択を用意したり、いくつか提示することで自ら選び取れるようにしている。 ・職員が決めた活動プランであっても、その中の細かい選択(例: 工作であれば色や形等)は子どもたち自身で決められるような環境設定や、自分で考えて行動出来ていけるよう、見守る支援も行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○		・学校や家庭からの申し送りも、ボードを使って全員共有することが出来ている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				・ケースなし。 ・18歳卒業者はまだいないが、今後を見通し、就労事業所とコンタクトを図っている。
	31	地域の児童発達センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活する機会があるか。	○	○	・公園で一緒になった際に仲介したことがある。 ・ほぼ機会がなく、他の子どもたちが遊んでいたとしても、交流は少なく、今後、職員も間に入って、色々なお友達と遊べたらと思う。	交流に関しては時間や特性上の問題があり実行できない。地域の公園等で一緒になった児童等と共に遊ぶ機会はある。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	36	運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			

内容		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点等
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際は、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	保護者会等を開催する等、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	・今年度、実施に向けている話を聞いている。 ・平日・土・祝、複数用意し、多く参加してもらえるよう職員同士で話し合って行ければと思う。保護者にアンケートをとってもいいのではないか。	保護者会は今年度末に開催予定だが、開催時間帯・場所等に課題が多く、準備・受け入れ体制をどう整えるか現在模索中。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・申し送りノート等で、職員間でも共有し対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・月1～2ペースでインスタも更新。活動の様子や外出の様子など分かりやすく、見やすく投稿している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・ケースなし。 ・地域向けの祭りのようなイベントを企画してみても良いのかもしれないが…	地域住民を招待する活動は行っていない。今後検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・職員同士の動きや子どもの危険認知・行動面を確認して、避難訓練を行っている。	
	48	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状態を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか。	○		・表にまとめてアレルギーのものはおやつに出さないようにしている。 ・アレルギーがある子どもたちの表を全職員が見る場所に掲示し、おやつ準備時などに毎回、確認できるようになっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			

内容	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点等
応	51 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・小さなことでも気づいた事は記入し、共有している。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に蹴決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	○			
満足度	55 不満や要望を気軽に話すことが出来るよう工夫している	○		・面談等、時間作ってもらっている。 ・小さな悩みでも気軽に相談できる空気感・環境です。	
	56 年に一度以上、満足度を把握しているか	○			